

平成31年度

運営に関する計画

（最 終 評 価）

大阪市立喜連小学校

大阪市立喜連小学校学校目標

「人間性豊かな子どもの育成」

- ・自ら学ぼうとする子
- ・思いやりのある子
- ・元気でくじけない子

学校教育方針

- (1) 民主的な社会の形成者として必要な人権尊重の精神と態度を養う。
- (2) 個性を尊重し、自ら学ぶ態度を育て、知性と創造性を養う。
- (3) 真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培う。
- (4) 健康でたくましい心身を育て、自律的な生活習慣や態度を養う。
- (5) 互いに敬愛し、協力する集団を育て、社会連帯や国際理解の基礎を養う。

重点課題（具体的方策）

- (1) 「生きる力」（確かな学力・豊かな心・健やかな体）をはぐくむ教育活動を推進する。
 - ① すすんで学び考える。（朝の読書を継続し、体育学習を通して）
 - ② 元気にあいさつ誰にでも
 - ③ 人を大切に、自分を大切に
 - ④ ルール 約束を守る。（黄帽着用の徹底を通して）
 - ⑤ 情操豊かにのびのびと たくましく（運動の日常化を通して⇒エクササイズタイム）
- (2) 学校からの情報公開を推進し、地域・保護者との連携を密にする。
 - ① 喜連小 HP や学校だよりや「喜連小っ子だより」等を活用し、学校からの情報発信の充実を図る。（学校だより、学級だより等の活用を図る。）
 - ② 学校の説明責任が果たせるよう、関連資料等で数値化できるものは数値化に努める。
 - ③ 学校評価、学校評議員設置への取り組みを勧める。
- (3) 学校での安全確保に向けた取り組みを強化する（ルールを守ることの徹底を通して）

大阪市立喜連小学校 平成 31 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

全国学力・学習状況調査について

国語科については国語 A では「話すこと・聞くこと」と「読むこと」の領域が全国の平均正答率を上回っている。算数 A でも「図形」の領域が全国の平均正答率を上回っており、着実に全国との差を縮めていると考えられる。国語科は読書活動の充実が、算数では習熟度別少人数指導が学力向上につながってきているものと考えられる。しかし、基礎学力的な部分の向上はみられるが残念ながら国語 B、算数 B、理科においては全ての領域で平均正答率は全国を下回っており、主として「活用」に関する学力の向上をいかに図っていくかが、本校の今後の課題であるものと思われる。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

今年度は体力合計点で全国平均に男子は 0.56 ポイント低かったが女子は 0.06 ポイント高かった。全国平均を上回った種目は、男子は「上体起こし」「50m 走」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」の 4 種目で女子は「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「50m 走」「ソフトボール投げ」の 5 種目であった。

学力向上に向けて

○今年度も研究部を中心に、各学年 1 回ずつ計 6 回研究授業を行い教育センターより教育指導員を招き研究討議を行い授業力の向上に努める。

○「ひらちゃん読書ノート」の活用

朝の読書タイム・図書室の活用により児童の読書習慣のさらなる定着を図る。

○学力の基礎・基本の定着

家庭学習教材の工夫等により家庭学習を定着させる。

○「振り返りプリント」の実施や「東書ライブラリー」の教材プリントの活用。

○外国語教育

月一回「外国語部会」を実施し、本格実施に向けて、教職員に向けて学習内容等の周知や意思一致を図っていく。

体力面について

今年度も「サスケチャレンジ」等児童の体力向上に向けた取り組みを引き続き行い、男女とも体力合計点が全国平均を上回ることを目指す。

生活面について

○あいさつ運動、安全歩行運動、縦割り班活動等を引き続き実施し学校全体として仲間意識を高めていく。

学校目標に沿って教育活動を行っていく

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

○校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。

○小学校学力経年調査における・校内調査における「学校の決まり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 85%以上にする。

○校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度と同様にする。

○校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も3年間で3ポイント減少させる。
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も3年間で3ポイント増加させる。
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- 全国体力・運動能力、運動習慣調査において、男女とも体力合計点が全国平均を上回ることを目指す。

全市共通目標

- 平成31年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- 平成31年度の小学校学力経年調査における・校内調査における「学校の決まり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を85%以上にする。
- 平成31年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度と同様にする。
- 平成31年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 平成31年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 平成31年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。
- 平成31年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。
- 平成31年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- 平成31年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、男女とも体力合計点が全国平均を上回ることを目指す。

2. 中期目標の達成に向けた年度目標

全市共通目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 平成 31 年度末の校内調査において学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。
- 平成 31 年度末の小学校学力経年調査における・校内調査における「学校の決まり・規則を守っていますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 85%以上にする。
- 平成 31 年度末の校内調査において暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度と同様にする。
- 平成 31 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力体力の向上】

- 平成 31 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 平成 31 年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント減少させる。
- 平成 31 年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を 2 割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント増加させる。
- 平成 31 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- 平成 31 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、男女とも体力合計点が全国平均を上回ることを目指す。

3. 本年度の自己評価結果の総括

今年度は、研究主題を「ともに学び、高めあえる子ども」の育成～ICT 機器を活用した授業づくり～とし研究部を中心に、全教職員の協力のもと、計画的に実施してきた。今年度は全教室にプロジェクターを設置し活用している。各学年 1 回ずつ計 6 回 ICT を活用した授業の研究授業を行い、その全てにおいて、大阪市教育センターより教育指導員を招き、研究討議を行い、指導助言をいただき、また教育指導員や、業者による ICT 機器の研修会を行い、授業力の向上に努めてきた。

麻の時間を有効に活用し、児童朝会及び児童集会の日以外の日に読書タイムや朝学習を実施し、静かな環境で読書や学習をする習慣が身に付いてきた。

読書に関しては、図書ボランティアの方に来ていただき、各学年 1 回ずつ本の読み聞かせを行っていただいた。また、平野区から配付されている「ひらちゃん読書ノート」を活用して読書活動に取り組んだ。本年度は 37 名の児童が区長表彰を受けた。本校の図書館ボランティアの方及び図書委員の活動により週数回開放し、ボランティアの方と連携しながら読み聞かせの定期的な実施、推薦図書の掲示等を行うことで、学校内の読書環境の充実を図っている。

基礎・基本の定着を図るため、授業の方法・教材等を工夫するとともに、各学年に応じた家庭学習教材を毎日出し、子どもたちの家庭学習の定着を図るように支援を続けてきたことにより、「全国学力学習状況調査」の児童質問「家で学校の宿題をしていますか」という質問に対し 98% の児童が「している」と回答しており、家庭学習の定着が図られつつあると考えられる。また、習熟度別少人数授業を行い、個に応じた学習指導に取り組んだこと等により 2 月実施分のアンケートで「国語の学習は分かる」「算数の学習は分かる」という項目において肯定的な回答をした児童は国語が 87%・算数が 88%であった。

外国語活動については週 1 回の 5・6 年生向けのネイティブ外国人講師 (C-NET) による、対話練習を中心とした英語のみの授業を行い、また、大阪市の英語教材を使用したモジュール学習を実施し英語教育の活性化を図ることによって、英語に興味を持つ児童が増加した。

放課後学習として、学習サポーターの方の協力のもと、全学年の児童対象に「放課後ステップアップタイム」を実施し、自主的に学習に取り組む時間を設けた。

健康面では、全校体操や「体力を高める運動習週間」を「SASUKE チャレンジ」と称して実施し今年度は、50m 走のタイムチャレンジとしてどれだけ記録を伸ばすことができるかに挑戦した。また、毎月の生活チェックカードの記録の継続や、保健だより等の活用により自分の生活習慣の見直しを行ったり、栄養指導や栄養だより、給食カレンダー等の活用により、児童の食への意識を高めることができた。

安全面では避難訓練を 5 月には火災・9 月には地震、津波・11 月には不審者対応・1 月には地震に対して実施した。また警察の方を招いて 4 月には 1 年生に対して 6 月には 4 年生に対して交通安全学習を行った。

生活面では、各委員会や代表委員会の児童が、毎月、あいさつ運動を行ったり、クラス順に廊下・かいだんを走らないように呼びかける安全歩行運動を行ったりすることを継続している。本年度も縦割り班活動や校内オリエンテーリング、喜連子ども祭り等、異学年交流を効果的に実施し学校全体として仲間意識を高めている。

しかしながら、以前からの課題もまだ残っている。授業に集中できなかったり、宿題を継続的にせず、学力がなかなか向上しない児童がいる。また、読書に関しても「学校生活アンケート」の「本を読むのは好きですか」という設問に対して肯定的な回答をした児童は 80%であったが否定的な回答をした児童が 20%もあり、さらなる読書習慣の定着を図るための取組を進める必要性があると考えられる。

早寝・早起き等の基本的な生活習慣が身に付いておらず、体調がすぐれない状態で授業を受けている児童もいる。さらに、相手の気持ちが思いやれず、人を傷つける言葉を言ってしまったりする児童もいる。今後も、懇談会、学年だより等で家庭に協力を促し、児童の実態について保護者と共通理解を図り、さらに連絡を密に取りながら指導を継続していく必要がある。

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおり達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】※全市共通目標 ① 平成31年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 ② 平成31年度の小学校学力経年調査における・校内調査における「学校の決まり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を85%以上にする。 ③ 平成31年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度と同様にする ④ 平成31年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の状況を測る指標	進捗状況
取組内容 【施策1 安全で安心できる学校教育環境の実現】 毎月、生活指導部会を行い、いじめにつながる行動を起こす可能性がある児童がいるかどうかを共通理解する。いじめ行動を認知した場合は、生活指導部会・いじめ対策委員会での話し合いを通して問題解決の方法を考え、いじめ対策基本方針に従って学校全体で解決に努める。 指標 ・ 平成31年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。	B
取組内容 【施策1 安全で安心できる学校教育環境の実現】 - 毎月の生活指導部会において暴力行為を複数回行う加害児童の把握をし、解決方法の手立てを考え、実行する。必要に応じて地域の主任児童委員や民生委員の方と連携を図る。 - 毎月の生活指導部会において不登校の児童の把握をし、担任や管理職が家庭訪問等を通して家庭との連絡を密にとるようにする。必要に応じて地域の主任児童委員や民生委員の方と連携を図る。 指標 ・ 平成31年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度と同様にする。 ・ 平成31年度末の校内調査において、不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。	B
取組内容 【施策2 道徳心・社会性の育成】 - 学校の決まりを守ることを朝会や学級で児童に働きかけ、全教職員で日常的に指導する。 - 児童が主体的に決まりを守ることが大切である態度を育むことができるように、児童発信の取り組みを学期に1回行う。 - 自然体験や社会体験等の各行事において、自らの役割をきちんと果たし、自主的に取り組む態度を養う。	B

指標	- 平成31年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を85%以上にする。 ※ 経年調査の結果が間に合わない場合には、校内アンケートを事前に実施したもので評価を行う。	
----	--	--

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
①	重大ないじめ事象の可能性のある児童や事案については今年度なかった。今後重大になりうる案件には、各学年の担任が児童の事情を聴き解決をした。それらの事案については、毎月の生活指導部会で、情報共有している。	
②	学校アンケートの「学校のきまりを守っていますか」の項目では当てはまると回答した児童が86%と意識の面では一定の達成が見られた。各学年・学級では、校外学習の事前指導、道徳や日々の生活指導の中で決まりを守ることの大切さについて、継続指導を行っている。	
③	暴力行為については落ち着いており、前年同様、特質する案件、事案はなく、特に気になる点はない。	
④	不登校気味の児童に対しては、解決に向けて、家庭との連絡を密にし、各学年、管理職、関係諸機関で連携しながら取り組んできた。	
次年度への改善点		
- 不登校児童への対応については、担任や管理職だけでなく、学校全体で取り組んでいく必要がある。また、地域や関係諸機関との連携をより一層強化していく必要がある。 - 児童のきまりを守る意識が薄い。アンケートの結果と児童の実際には大きく開きがあるため、今後具体的な対策が必要になってくる。教職員の「学校のきまり」に関する共通認識が薄く、指導の実際も異なるため、教職員も指導の方法を共通理解し、学校全体で意識を高めていく必要がある。		

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおり達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】※全市共通目標 ① 平成31年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 ② 平成31年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。 ③ 平成31年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。 ④ 平成31年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。 ⑤ 平成31年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、男女とも体力合計点が全国平均を上回ることを目指す。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の状況を測る指標	進捗状況
取組内容 【施策5 子供一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】 ・学年の実態に応じて、児童が主体的に学習に取り組むことができるような手立てを行い、学習に対する関心・意欲の向上を図る。（目標①・③）	B
指標 ・学校生活アンケート【授業では、自分で考え、自分から取り組んでいます。】の項目において、肯定的な回答の割合を75%以上にする。	
取組内容 【施策5 子供一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】 ・基礎基本の定着を目指して学習をすすめ、習熟度別少人数指導等を充実させるなど、理解度に応じた学習のあり方を模索する。（目標②）	B
指標 ・坂数についてのアンケート【問題のときかたがわからないときは、あきらめずにいろいろな方法で考える】や【問題をとくとき、もっとかんたんにとく方法がないか考える】等の項目において、肯定的な回答の割合を75%以上にする。	
取組内容 【施策2 道徳心・社会性の育成】 ・学習において話し合い活動を数多く取り入れ、話し合い活動によって学びが広がったと実感できるような場を設定する。（目標④）	B
指標 ・学校生活アンケート【学級の友だちと話し合って、自分の考えを確かめたり、わかったことが増えたりしています】の項目において、肯定的な回答の割合を75%以上にする。	

取組内容 【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】 ・ 全校体操や体力を高める運動習慣を設定し、体力向上への意欲を高める。(目標⑤)	
指標 運動に関する能力調査を前期・後期で行い、前期より後期の記録が向上した児童の割合を 8 割以上にする。	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
・ 習熟度別少人数指導や実態に応じた個別指導などを行い、基礎基本の定着を図ることができた。 ・ 授業の導入時に基本計算を行い、その記録をとることで意欲をもって取り組めるようにして基礎の力の向上を図ることができた。 ・ 児童が興味をもって取り組めるような授業展開を工夫することができた。 ・ ペアやグループで話し合ったり、教えあったりする場を設定し、話し合い活動を活発にすることがた。 ・ 計画的に体力を高める運動週間を実施し、体力向上を図ることができた。	
次年度への改善点	
・ 全市共通目標が経年調査をもとにした指標となるので、経年調査に該当しない低学年をどのように評価するのか共通理解が必要。 ・ 経年調査の結果時期に合わせることができないため、達成状況を取り組みの実態及びアンケートをもとに評価することになっているが、アンケートの結果も具体的な人数や割合の指標を示すほうが良いのではないか。 ・ 体力を高める取り組みについては、計画通り実施できたが、内容もふくめて取り組みが結果につながっているかを検討していくことが必要。	

教員の研修計画

月	研 修 内 容
4	研究主題の設定 運営に関する計画立案 研修・研究計画立案 各教科・領域部会の計画立案 研究推進委員会 全体研究会 アレルギー疾患対応研修
5	人権生指全体会(児童理解①) 特別支援教育に在籍する児童理解(児童理解①)
6	授業研究会 メンター研修会 平野区人権教育講演会参加個人研修
7	外国語活動訪問研修会 水泳・救命講習会 ICT研修会(タブレット) メンター研修会 個人研修 研修・研究会参加
8	小学校教育課程研修会 研修・研究会参加 教材・教具の作成と整備
9	学習指導案の検討会 メンター研修会
10	運営に関する計画(中間評価) 授業研究会
11	授業研究会 平野区人権教育実践交流会 教科・領域部会(反省) 人権生指全体会
12	授業研究会 研修・研究会参加 個人研修
1	区教員研究発表会 道徳授業研修会 研究推進委員会 研究紀要作成 研究紀要検討
2	運営に関する計画(最終評価) 研究推進委員会(全) 総合研究発表会
3	本年度研究のまとめ 研究推進委員会 次年度の計画立案
備 考	学習指導案の検討会(随時) プレ授業・模擬授業(随時) 各種実技研修(随時) 伝達講習会(随時) 初任者研修会(随時)

算数についてのアンケート

年 組 名前 ()

★ あてはまるものに丸をつけましょう。

1. 算数

算数の学習は分かる。

＜そう思う・どちらかといえばそう思う・どちらかといえばそう思わない・そう思わない＞
55% 32% 7% 6%

算数の学習は楽しい。

＜そう思う・どちらかといえばそう思う・どちらかといえばそう思わない・そう思わない＞
48% 26% 15% 11%

算数の学習はすき。

＜そう思う・どちらかといえばそう思う・どちらかといえばそう思わない・そう思わない＞
45% 20% 20% 14%
無答1%

問題のとき方がわからないときは、
あきらめずにいろいろな方法で考える。

＜そう思う・どちらかといえばそう思う・どちらかといえばそう思わない・そう思わない＞
52% 30% 12% 6%

問題をとくとき、もっとかんたんに
とく方法がないか考える。

＜そう思う・どちらかといえばそう思う・どちらかといえばそう思わない・そう思わない＞
52% 30% 13% 5%

令和元年度 学校生活アンケート (前期)

2～6年生用

年 組 名前 喜連小学校全体

- 1 学校は楽しいです
- 2 自分にはよいところがあります
- 3 学校のきまりを守っています
- 4 廊下・階段を走らないように気をつけています
- 5 友だちとのやくそくを守っています
- 6 自分から先にあいさつしています
- 7 学校の行事にしっかりと取り組んでいます
- 8 係や当番など、自分の役割に一生懸命に取り組んでいます
- 9 授業では、自分で考え、自分から取り組んでいます
- 10 学級の友だちと話し合って、自分の考えを確かめたり、わかったことが増えたりしています
- 11 本を読むのは好きです。
- 12 スポーツの記録が去年より伸びました
- 12 体育の学しゅうはたのしいです (1年生のみ)

あてはまるものに○をつけましょう

そう思う どちらかと
いえば そう思う どちらかと
いえば そう思わない そう思わない

73%	20%	4%	3%
55%	30%	9%	6%
52%	34%	12%	2%
49%	34%	10%	7%
76%	20%	3%	1%
57%	26%	12%	5%
74%	21%	4%	1%
77%	18%	4%	1%
53%	33%	10%	4%
63%	29%	4%	4%
65%	18%	7%	10%
62%	24%	8%	6%
84%	9%	2%	5%